

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和2年5月8日(金) No.1

はじめまして



今年度も佐藤司が気仙小学校ことばの教室を担当します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、3月30日に教育委員会から「通級通知」が通知され令和2年度の通級する児童が決定し、4月16日に教育委員会から通級形態について連絡を受けたところでしたが、翌日4月17日(金)から24日(金)まで新型コロナウイルス拡大防止のため臨時休校となりました。ことばの教室では、休校中でしたが4月20日(月)から保護者の皆さんと連絡をとり、5月8日(金)までに第1回目の指導と他校通級か巡回指導のどちらで指導を受けるかを検討していただき確定しました。おかげさまで時間割が決定しましたので別紙「令和2年度タイムテーブル」でお知らせします。

5月11日からタイムテーブルによる指導を開始します。通級曜日と時間について変更等がありましたらご連絡下さい。まだ、第1回目の指導を受けていない方は、気仙小学校までお子さんと一緒においで下さい。よろしくお願いいたします。

「通級形態」について

「通級形態」についてお知らせします。ことばの教室に行き指導を受けることを「通級」といいます。通級指導教室への通級形態は3つあります。ことばの教室設置校の児童がことばの教室に行き指導を受けることを「校内通級」、保護者がお子さんを連れてことばの教室に行き指導を受けることを「他校通級」、担当者が児童在籍校に出向いて指導することを「巡回指導」といいます。

陸前高田市では、震災前は高田小学校と気仙小学校におうちの方がお子さんを連れて指導を受けていましたが、震災後おうちの方の車や気仙大橋や姉齒橋が流され、他校通級が難しくなったために、平成23年から令和元年度までの9年間「巡回指導」に切り替えて指導してきました。しかし、平成31年1月に気仙小学校、令和元年7月に高田小学校の校舎が完成し、ことばの教室も整備されたことにより、令和2年度から「巡回指導」から「校内通級」、「他校通級」に戻ることが決まりました。

ところが、令和2年度から本来の通級に戻すことについて、教育相談の時に説明し、新年度に再度調整してきましたが、どうしてもお子さんを送迎できないご家庭もあることから、今年度は巡回指導もおこなうことになりました。タイムテーブルの午前の指導は巡回指導で午後は校内通級と他校通級です。月曜日と金曜日の8時間目は空けていますので、指導の変更や相談に活用して下さい。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和2年5月11日(月) No.2

「通級説明会」について



左の写真は昨年度の「通級説明会」です。例年5月の連休明けに市役所4号棟3階の会議室で開催しておりましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにおこなわないことになりました。

「通級説明会」は、通級指導教室設置者の教育委員会と、設置校の校長、担当、保護者の参加のもと、ことばの教室の概要、対象児童、指導の内容や方法、保護者との連携等について説明する会です。今年度は中止となったため資料をお渡しいたします。お子さんの発音の誤りが早く改善できるように、おうちの方と連携して進めていきます。よろしくお願ひします。不明な点は遠慮なく指導の際担当に尋ねて下さい。

通級開始のお知らせ

教育委員会から「通級通知」を受けて、ことばの教室設置学校から「通級開始のお知らせ」を通知します。「通級開始のお知らせ」は、通級形態、通級曜日と時間をお知らせするものです。今後はタイムテーブルに沿って指導を行いますが、通級開始後におうちの方の送迎で都合が悪くなったり、児童の学習の遅れが心配になったりして、通級曜日と時間を変更する場合も出てくると思います。そんなときは遠慮なくご連絡下さい。連絡については次の通りです。

児童の欠席・タイムテーブルの曜日・時間の変更の連絡

曜日	巡回指導先学校	
月曜日	広田小学校	【巡回指導対象児童の変更】 通学する学校にお知らせ下さい。児童在籍校から連絡をいただきます。担当の佐藤の都合が悪いときは、児童在籍校に連絡します。 【他校通級の場合】 保護者の都合で変更がある場合は、曜日や時間を調整しますので、気仙小学校ことばの担当まで早めに連絡下さい。欠席の場合は、その日の朝でかまいませんので連絡下さい。担当の佐藤の都合で変更する場合は、直接保護者に電話連絡します。
火曜日	広田小学校	
水曜日	小友小学校	
木曜日	米崎小学校	
金曜日	竹駒小学校	



指導は、学校の行事や授業の内容で変更することもあります。

子どもたちは、授業時間中に通級指導を受けるために教室を離れますが、学校教育法施行規則第四百一条で、通級指導教室で受けた授業を、当該小学校において受けた授業とみなすことができるとあり、欠席扱いにはなりませんのでご安心ください。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和2年6月11日(木) No.3

「巡回指導」

通級を開始してから約2ヶ月が経ち、指導回数の多い子で6回目の指導を行いました。担当する私をはじめ、通級する児童と保護者の方も通級に少し慣れてきたところと思います。

月曜日と火曜日の午前中は広田小学校にお邪魔しています。昨年度までの3年間は、1・2年教室の間のサブルームを使わせていただいていたのですが、今年度から3・4年生教室のある1階の教室で指導しています。廊下側の扉に「指導中」の表示をつくって頂きました。広い教室ですが、静かで落ち着いて学習ができます。ときどき通級している子どもたちが学級で学習している様子も見せていただいております。



水曜日の午前中は小友小学校に出向いています。防犯のため玄関が施錠されているので、インターホンでお願いしてドアを開けてもらいます。いつも温かく出迎えて頂いています。玄関脇の多目的教室をお借りしています。小友小学校の学年の教室が2階と3階にあるので、1階はとても静かで、集中して学習ができます。副校長先生と担任の先生が授業を見に来てくれました。



木曜日は、米崎小学校に出向いています。1階の放送室で指導しています。震災直後、米崎小学校の校舎に米崎中学校が入り、校庭が仮設住宅で埋まって空き教室がないときに放送室で指導したことを思い出します。放送室はこじんまりしていて防音?になっているので、構音指導には最適です。1年生の教室も昇降口を挟んで近いため、担任の先生と連絡がとりやすく便利です。先日は教室で発音が気になるといふことで、学級の子のことばの検査をしました。出向いている利点としては、簡単に検査や相談ができることです。



金曜日は竹駒小学校に出向いています。図工室で指導しています。昨年は1年生の教室から「いってらっしゃい」、「いってきます」の声が聞こえると恥ずかしそうに「失礼します」と入ってきましたが、今年は2階の教室から元気に通級しています。

鏡のついた指導用机について



左の写真は、盛岡市立桜城小学校きこえことばの教室の指導室にある「照明付移動式鏡台」です。

私たちの指導法は「岩手方式」といって、鏡のついた机を使って、指導者と児童が鏡の前に並んで座って、鏡を見ながら口の形や舌の形、舌の動き、音を良く聞くなどの訓練をおこないます。「照明付移動式鏡台」は全国どこでも使われているのではありません。この鏡台は、日本で最初にことばの教室が開設された宮城県仙台市立通町小学校で指導されていた濱崎健治先生が使われていたものです。岩手方式はその指導法を引き継いでいます。



「照明付移動式鏡台」は、高田小と気仙小に設置してあります。設置校以外の小学校には、震災直後に岩手県ことばを育む親の会から、移動式の指導用鏡を届けて頂き、現在も指導する市内小学校の教室

に配置して使用しています。しかし、今年度は米崎小学校には鏡がないので、手鏡を使って指導しています。以前は、米崎小学校にきこえの教室があったので、指導鏡（鏡のついた指導用の机）があったのですが、高田小学校の新築に伴って高田小ことばの教室に移動したためです。

新型コロナウイルス対応について

ことばの教室の指導は、母音や子音の音を聞き分ける耳の訓練や発声発語器官の機能訓練が授業中続きますので、雑音が入らないように窓を閉め切って指導します。指導では、新型コロナウイルス対策として、指導前に机とイスを消毒し、指導中は机やストローやコップなどに唾液がつくので、こまめに水洗いやアルコール消毒しながら指導しています。もちろん指導後も消毒しています。上の写真の桜城小学校では、指導用机の中央に透明の仕切り板を設置しています。陸前高田市では仕切り板などの対策は取っていませんので、消毒を徹底しています。

記録するために子どもたちは私の筆記用具を使っていますが、鉛筆を口元に持っていったりなめたりするので、鉛筆は自分のものを使わせたいと思います。連絡帳の他に筆箱も持たせて下さい。

熱中症対策について

指導する教室にはエアコンが設置されていないので、これからは特に室温が高くなります。熱中症にならないようにこまめに水分を取りながら指導しますので、水筒もあるといいと思います。

いろいろとお願いがありますが、よろしくお願いします。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和2年6月12日(金) No.4

令和2年度ことばの教室通級説明会



左の写真は、昨年5月14日火曜日午後6時から行われた、「令和元年度ことばの教室通級説明会」の様子です。

陸前高田市には、高田小学校と気仙小学校にことばの教室が設置されています。今年度は5月1日現在で28名の児童が通級しています。通級指導を始めるにあたり、保護者の皆さんに出席していただき、「通級指導教室について」、「指導について」、「通級について」、説明を行ってきました。毎年たくさんの子どもたちが通級指導を受けていますが、一般の皆さんには、どんな教室で何を学習しているのかわからないことが多いので、教室のことを知ってもらい、安心して通級していただくためにおこなわれています。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、「通級説明会」を中止しました。震災後に取り組んできた巡回指導から震災前の通級に戻すという、通級の在り方を大きく変更する動きがありましたが、紙面だけで十分な説明ができずに今年度の通級指導を開始したように思います。実際には、送迎できる方はことばの教室に通級し、送迎が難しい方は午前中に担当者が児童在籍校を訪問する巡回指導を行う方法により、特に大きな混乱もなく指導が進められて安心していらっしゃるようです。

例年通級説明会では、ことばの教室の指導について、「母音と子音」、「音節と単音」、「発音と構音」についての説明と、通級指導上の連絡、親の会の組織について説明していますが、今のところ会を行う予定はないので、通信を通して紹介していきます。

ことばの教室の学習は、連絡帳を通して毎時間おうちの方に報告しますが、ことばでうまく説明できないことが多いので、いつでも授業を参観してもらいたいと思います。授業で訓練したことを家でも取り組むと、学習の効果が高まります。仕事の都合で午前中参観できない方もいると思います。そのときは、午後に時間を変更しますので、いつでもことばの教室までご連絡下さい。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和2年6月12日(金) No.5

令和2年度陸前高田市 ことばを育む親の会総会



令和2年度陸前高田市ことばを育む親の会総会を新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面議決にて実施しました。配布した総会資料について、ご質問やご意見がありましたら、事務局までご連絡下さい。

さて、例年であれば左の写真のように、陸前高田市役所において、通級説明会を行い、その後、陸前高田市教育委員会教育長、学校教育課課長、指導主事、岩手県ことばを育む親の会副会長、気仙支部親の会会長を来賓に迎え「令和2年度陸前高田市ことばを育む親の会総会」を開催する予定でしたが中止となりました。

配布した総会資料について説明します。報告(1)令和元年度活動経過報告に昨年度の主な行事等を載せています。また、(3)活動計画に今年度の予定を載せました。市親の会独自で行事を計画することはなく、気仙支部親の会と沿岸Bブロック、県親の会の開催する会議と行事に参加する予定です。県親の会では、隔年開催で親子キャンプを行っています。今年度は県北地区で「サマーキャンプ in カシオペア」を予定していましたが、来年度に延期となりました。気仙支部主催のレクと上閉伊支部と気仙支部の2地区で行うBブロック研修会は未定です。

次に(4)会費額と予算についてです。市親の会の収入は会費と市P連からの補助金です。会費は年間1,500円です。支出は県親の会に1人900円、支部親の会へ1人800円で合計1,700円です。不足分は補助金でまかなっていません。会を代表して会議や大会に出席していただく役員には、できるだけ旅費を支出したいと考えています。よろしくお願いします。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和2年9月28日(月) No.6

通級指導について



「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、秋のお彼岸は秋分の日が中日なので、9月19日(土)から9月25日(金)の7日間でした。今週は、「お墓参りに行ってきた」と話してくれる子もいました。これから夜の時間が長くなると思うと少し寂しいような気がします。

さて、陸前高田市では、今年度から震災後担当者が児童在籍校に出向いて指導を行う巡回指導から、震災前の通級制に戻すことになりました。私は指導鏡の前に児童とおうちの方と3人で座って指導するスタイルをずっと行ってきました。しかし、震災後9年間は児童全員巡回指導だったので、おうちの方と一緒に授業をするのは久しぶりです。はじめは少し慣れませんでした。一生懸命練習する子どもの様子を見て、励まして頂いたり、「○」か「×」の評価をお願いしたり、授業に参加して頂き、次第に良い感じで授業ができるようになってきました。通級指導教室の指導は、教科書があるわけではなく、やることといたらうまくできない舌などの動きの練習や、口を開けたり引いたりなどの口形練習で、やる気の出ない内容が多いので、おうちの方の励ましはとても力になります。また、おうちの方に連絡帳やことばでは説明できないことが多いので、授業を観て、舌の動きや形を覚えていただき、学習プリントの内容や使い方を知っていただき、家でも練習するととても効果が出ます。学期の始めと終わりには、お子さん同伴でおいで下さい。

前期の指導経過報告書について



4月から学習を進めてきました。「前期通級経過報告書」でこれまでの指導について報告します。

通級している子の多くは、歪みの歯間化構音、側音化構音、中舌化構音といわれる誤り方です。これらの構音の誤りの原因は、舌の動きが悪いために誤った構音になった。もう一つは、舌の動きは良いのに、小さいときに誤った構音を身につけてしまったことが考えられます。教室では、口や舌の動きを良くし、正しく動かしたり構えたりできるように訓練し、正しい音を学習しています。報告書で学習の様子をお知らせしましたが、説明するのが難しいので、不明な点は直接相談して下さい。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和2年9月29日(火) No.7

ことばの教室・きこえの教室・幼児 ことばの教室の歴史について

「ことばの教室」が岩手県で最初にできたのは昭和42年、釜石市の旧大渡小学校です。気仙地区では昭和47年に盛小学校に、昭和48年に気仙小学校に開設されました。気仙小学校ことばの教室が開設されて46年目を迎え、県内でも歴史のある教室です。

令和2年度岩手県内に設置されている施設数は111、ことばの教室は91、きこえの教室は32、幼児教室は29、LD等通級指導教室は28、全教室数は180で、多くの子どもたちが通級しています。

気仙地区内ではことばの教室が盛小学校、越喜来小学校、気仙小学校、高田小学校、世田米小学校に設置されています。

きこえの教室は、高田小学校、立根小学校、越喜来小学校に設置されています。

幼児ことばの教室は、大船渡市教育委員会(平成12年度開設)、高田小学校(平成29年度開設)に設置されています。

「ことばを育む親の会」

ことばの教室は親の会と大変重要な関わりがあります。ことばを育む親の会は、児童が安心してことばの教室に通級できるように活動をしています。ことばの教室は、ことばを育む親の会の設置運動によって誕生し、今日に至っています。また、親の会は、担当者の研修制度や通級制度、指導に関わる条件・環境整備について積極的に働きかけ、日本における通級の仕組みづくりに関わってきました。

陸前高田市では、「気仙小学校ことばの教室親の会」と「高田小学校ことばの教室親の会」、その上に「陸前高田市ことばの教室親の会」がありましたが、平成23年10月2日に統合して「陸前高田市ことばを育む親の会」となりました。

気仙地区では、「陸前高田市ことばを育む親の会」、「盛小学校ことばを育む親の会」、「越喜来小学校ことばを育む親の会」、「世田米小学校ことばを育む親の会」で組織する「岩手県ことばを育む親の会気仙支部」があり、その上の組織として「岩手県ことばを育む親の会」があります。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和2年9月30日(水) No.8

岩手県ことばを育む親の会気仙支部総会



岩手県ことばを育む親の会気仙支部は、例年5月半ばに事務局を置いている盛小学校で、気仙支部総会をおこなっていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、活動を中止又は延期しています。詳しく総会資料をごらん下さい。

県親の会及び気仙支部では、中止となる行事が多くあります。未定の活動には、「ことばを育む親の会気仙支部レクリエーション」と「岩手県ことばを育む親の会Bブロック研修会」、「教育長訪問」、「ことばを育む親の会気仙支部2021年を語る会」があります。まだ実施するかどうか決定していませんので、連絡が来ましたら皆さんにお伝えします。

令和2年7月25日(土)から26日(日)に予定していた岩手県ことばを育む親の会「親子合宿研修会サマーキャンプinカシオペア(県北青少年の家)」は、令和3年度に延期しました。

ことばを育む親の会会費の変更と 集金について

団体名	会費額	備考
岩手県ことばを育む親の会	700円	例年900円から200円減額
岩手県ことばを育む親の会気仙支部	0円	例年800円
陸前高田市ことばを育む親の会	1,500円	例年1,500円

陸前高田市ことばを育む親の会では、総会で確認したとおり、会費額1,500円の変更はありません。集金袋を配布しますので、通級の方は直接佐藤まで、巡回指導の方は、在籍校の学級担任に提出して下さい。

NPO法人全国ことばを育む親の会

「親の会パンフレット」を配布します。ごらん下さい。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和3年1月27日(水) No.9

気仙支部親の会のあゆみ



米崎小学校の指導室
(放送室)

今年度は、新型コロナウイルス感染予防のために、親の会の会議や行事が中止となっています。みなさんに、親の会について学習する機会がないので、今回は「岩手県ことばを育む親の会気仙支部」のあゆみを紹介します。

昭和47年7月1日、気仙支部では最初に大船渡市立盛小学校ことばの教室が開設されました。

それと同時に、親の会がつくられ、「障がい別学習会」「会員相互の親睦」「啓蒙」という3つの柱を基に活動が進められてきました。

昭和51年には、さらに盛小学校に「きこえの教室」も開級されて4学級となり、親の会も組織の充実を図ってきました。

昭和48年、陸前高田市気仙小学校ことばの教室が開設されるに伴い、翌年、親の会「はまなす会」がつくられました。通信の「はまなす」はここから来ています。はじめの頃は、単独で活動するには無理な面があったため、隣接する盛小学校ことばの教室親の会の協力を得て、合同の行事や学習会、講演会を開催し、会員が交流する中で組織を強化してきました。

その後、大船渡市で「県親の会大会」、陸前高田市で「県親子合宿研」がおこなわれ、親の会の力を結集して大きな成果を収めました。

昭和62年には、住田町立世田米小学校ことばの教室、昭和63年には三陸町立越喜来小学校ことばの教室が相次いで開設され、気仙地区二市二町のそれぞれにことばの教室親の会がつくられました。

そこで、各教室親の会から気仙支部親の会活動を発展させ、会員相互の交流と学習環境の整備等を進め、平成元年に予定されている県親子合宿研への対応などを図るため、昭和63年に気仙支部親の会を結成しました。

そして翌年、大船渡市を会場に開催された県親子合宿研には、県内各地からたくさんの親子が参加し、成功裡に終わりました。

気仙支部親の会の役員・会員が何度も集まって会合を持ち、交流を深めながら大きな行事に取り組んできたことが会の成功につながったものと考えます。

その後、親の会役員も交代しつつありますが、今後も県親の会や各教室親の会とのつながりを大切にしながら取り組んでいます。



気仙支部内ことば・きこえの教室開設 並びに親の会の結成年度



昭和44年・45年	県親の会教室設置陳情
昭和47年 7月 1日	盛小ことばの教室開級式 盛小教室親の会結成
昭和48年12月 8日	気仙小ことばの教室開設
昭和49年 4月20日	気仙小教室親の会「はまなす会」結成
昭和51年11月20日	盛小きこえの教室開級式
昭和53年 6月 4日	第11回県親の会気仙大会
昭和53年 7月28日	第6回東北ブロック、 第4回県親子合宿研開催
昭和58年 3月 9日	気仙小ことばの教室開設10周年記念行事を開催
昭和58年 9月21日	岩手県特研（気仙大会）に協力
昭和62年	世田米小ことばの教室開設 世田米小教室親の会結成
昭和63年 4月	越喜来小ことばの教室開設
昭和63年 8月30日	越喜来小教室親の会結成
昭和63年 7月 9日	気仙支部親の会結成 第1回支部総会を開催
平成 1年	高田小ことばの教室開設 高田小教室親の会結成
平成 1年 7月29日	第15回県親子合宿研開催
平成 6年 4月 1日	盛小、世田米小ことばの教室が通級指導教室となる
平成 6年10月 3日	第45回県特研に協力
平成 8年 4月 1日	高田小学校ことばの教室が通級指導教室となる 越喜来小学校ことばの教室が通級指導教室となる
平成10年 3月	第45回県特殊教育研究大会気仙地区大会に協力
平成10年8月1・2日	県親子合宿研修会気仙大会
平成11年10月13日	「幼児教室」請願盛小ことばの教室親の会
平成12年 2月 7日	盛小学校「幼児ことばの教室」設置
平成12年 4月 1日	盛小きこえの教室再開
平成14年 4月 1日	大船渡一中きこえの教室開設（平成22年閉級）
平成15年11月 8日	盛小きこえとことばの教室設置30周年記念式典
平成21年 4月 1日	米崎小きこえの教室開設（平成24年閉級）
平成23年 3月11日	東日本大震災 高田市巡回指導開始
平成23年10月 2	陸前高田市には、高田小親の会、気仙小親の会、陸前高田市親の会を組織していたが陸前高田市ことばを育む親の会に統合
平成27年 1月31日	盛小きこえことばの教室設置40周年記念事業



岩手県ことばを育む親の会50周年記念誌「あゆみ パートV」より抜粋

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和3年1月28日(木) No.10

「発音」と「構音」について

英語などの外国語では、発音の仕方を学習しますが、日本語の発音の仕方を学習した経験のある方は少ないのが現状です。そのため、日本語の母音と子音の区別がはっきりしません。母音は「あいうえお」、子音は「か、さ、た・・・」と思いがちです。例えば、「さ」の発音記号は[s a]で、分解すると[s]と[a]になります。[s a]は「音節」といい、分解した一つ一つの[s]や[a]を「単音」といいます。この「単音」を発音することを「構音」といいます。[s a]「さ」「音節」を発音することを「発音」といいます。[s a]の[s]を子音、[a]を母音といいます。母音と子音の構音は、口の形、舌の形や動き、呼気の出方、舌先の位置などが一つ一つ決まっています。ところが舌の構えや呼気の出方などを間違えて使っている子どもたちがいます。このように、誤った構音を「構音障がい」といいます。「構音障がい」は、舌などの動きが良いのに、小さい時に誤った構音を身に着けてしまった場合と、舌などの動きが悪く正しく構えたり動かしたりできないために誤った構音を身に着けた場合が考えられます。どちらにしても、訓練すると正しく構音できるようになるので心配はありません。

ことばの教室で行う構音指導は、口や舌などの構音器官が正しく構えたり動かしたりできるようにする訓練、正しく聞き取りできるようにする耳の訓練、自分の誤りを知り、どうしたら治せるか学習しようとする心構えを学習する時間などにより進められます。訓練中心の学習で、きちんと座って集中して口や舌の形や動きを見る力、注意して良く聞き、音の小さな違いが聞き取れるようにする力、できないことでもできるまで根気強く頑張ろうとする力、自分のこれまでの頑張りが分かり成果が分かる力など、学習や生活に必要な大切な力が備わっていないとなかなか学習を進めることができません。ことばの教室と家庭の協力が大切です。ぜひ、学習している様子を見に来て下さい。

3学期の指導がスタートしました

冬休みが終わり、先週の20日(水)から3学期の指導を開始しました。子どもたちから、冬休み中の楽しい思い出を聞きながら授業をしています。

さて、社会科の教科書に「年中行事」の内容があります。保育園・保育所、各地域でいろいろな行事をおこなっています。しかし、今年は特にコロナ過の中で家庭での「年中行事」は少し薄れてきているように感じます。小正月も終わり、次は節分が近づいてきました。楽しいことを見つけて、元気に過ごしていきましょう。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和3年1月29日(金) No.11

指導の紹介「動機づけ」「機能訓練表」

1、2学期は、通級指導と巡回指導により、ことばの学習を進めてきました。子どもたちは、毎時間正しい構音ができるように頑張って練習しています。学習の様子を観ていただく機会がもてないまま、1月も過ぎようとしています。「サ」や「キ」などの発音練習もしていますが、機能訓練も年間を通して取り組んでいます。今回は、機能訓練表について説明します。

ことばの教室の指導は、訓練が中心です。訓練の内容は、動機づけ、耳の訓練、発声発語器官の機能訓練、母音指導、構音指導、発音指導、習熟指導の7つです。

動機づけは、現在正しくできない舌の動きや舌の構え方、音の出し方など、自分の課題を知り、治そうとする意欲をもつ学習です。今回は、動機づけの「機能訓練表」について説明します。

動機づけの学習で子どもが自分の誤りを知ってもらうために、「機能検査表」と「学習プリント」を使っています。

「機能検査表」は、舌の動きや構えを検査します。検査の結果、「機能訓練表」で練習します。この表の全てができないと母音と子音が正しく構音できません。正しく構音・発音ができるには、まずは「機能訓練表」の項目全てが完成しないといけません。この表が完成すると次に学習プリントの1ページ目に進むことができます。「機能訓練表」の各項目は、簡単そうですがやってみると意外に難しい内容です。通級指導は週1回45分で、その中でも機能訓練の時間はそんなに多くはとれません。「機能訓練表」の項目のできないところは、毎日おうちで取り組んでもらうと効果的です。全く舌が動かさない場合でも、毎日取り組むと3ヶ月くらいでできるようになります。とにかく励ましながら練習するしかありません。同じような内容の訓練を3ヶ月も続けると、飽きてしまい、子どもも指導する担当も辛くなってきますが、あきらめずに取り組ませることが大切です。頑張った結果、全て完成して合格したときの喜びは格別です。そのときに、おうちの方も一緒に練習に取り組んでいただくと、親子で喜びを分かち合うことができます。

ことばの教室の学習は、教科書も教材もないので、なにをやったらいいかわからない授業になりがちになります。機能訓練の学習が中心のはじめの頃は、指導の内容が単調で飽きてしまうこともあります。こつこつ取り組んで積み上げていくので、おうちの方にも励ましの声をかけていただきたいと思います。現在はすでに合格している子がほとんどですが、さらに良く動くように、練習を続けてほしいと思います。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和3年2月1日(月) No.12

指導の紹介 「学習プリント」

2月に入り、今年度の学習のまとめの時期となりました。前号からの話題の続きです。

動機づけは、現在正しくできない舌の動きや舌の構え、音の出し方などの自分の課題を知り、治そうとする意欲をもつ学習です。今回は、「学習プリント」で誤りを確認することについて説明します。学習プリントを準備してお読み下さい。

各音の「学習プリント」の1ページ目は、母音や子音の単音が正しく構音できるかできないかを確認するために使います。

例えば、「き」の子音は発音記号で表すと [k] (単音) です。[k] (単音) と母音 [i] (単音) がくっついて [ki] (音節) ができます。[k] を構音するには、①口の形、②舌の形、③風の出方、④舌尖の位置、⑤風の音、⑥舌の奥の使い方が決まっています。①から⑥のどれか1つでも正確にできないと [k] は正しく構音できない (構音障がい) と判断します。子どもたちには、学習プリントの①から⑥について自分の構音を評価させます。右の評価項目 (×△○) 欄に練習した日にちと評価を記入しています。下の欄には、合格した日にちを記入しています。

①口の形

口の形は、母音指導の口形練習です。「あ、い、え」は上下の歯が4本以上見えるように口角を引かせ、「う、お」は歯が見えないように口をすぼめます。多くの子どもたちが練習している音は、イ列音が多いのですが、母音の口形指導もしますが、あらためて練習するのではなく、音づくりの中で合わせて指導しています。舌全体の広がりや舌の奥の様子、舌尖の位置、舌の動きを目で確認するためには、どうしても歯が見えるように構える必要があります。

②舌の形

舌の形は、舌の広がり、舌の表面の形、舌の中央の正中溝に沿って隙間 (くぼみ) が見えるかどうか、隙間の形や大きさ、隙間の位置をチェックします。このわずかな大きさの隙間を見逃すと、正しく評価できません。じっと見て良否を判定するのは、低学年の子どもたちには難しいのですが、頑張ってもらっています。

③風の出方

風の出方は、ラ行音を除く日本語の母音と子音は、舌の中央から呼気が出ます。破裂音、摩擦音、破擦音などの子音の多くは、呼気の流れを阻止や変化を加えて音色を変化させます。舌の真ん中から呼気が出ているかどうかは、正しく子音が出ているかどうかにつながるので、しっかりチェックします。呼気の出方が弱いと曖昧な発音につながります。

④舌先の位置

舌先の位置は、母音、子音の各音によって違います。母音を例にすると、「え」と「い」は舌先が下歯茎につきますが、「あ」、「う」、「お」は下歯茎から後方に離れています。正しい位置に着いているか、また舌先移動の仕方や舌全体の形をチェックします。

⑤発した音（子音）

※子音の多くは、声帯が震えないので、「発声」ではなく「発する」と表現します。

子音（風の音）には、いろいろな音色があります。自分の発した音を自分の耳で聞いて、同じか違うか、正しいか間違えているか、を自分で聞き分けることができるように訓練します。聞き分けられないと、構音障がい改善することが難しく、指導の期間が長くなることもあります。また、指導が終わっても日常会話等で誤りがみられるなど、定着が難しくなります。

⑥舌の奥の両端が上の奥歯に着いているか

本来呼気が舌の中央が出るところ、口の脇から漏れるようにして子音を発する誤り方を側音化構音といいます。原因は、舌が堅く、横への広がりがないためです。イ列音に多く、母音イ音が正しく構えられないと、全部のイ列音の発音が障がいされてしまいます。側音化構音出ない場合でも、舌の広がりが足りないと音の出方が不安定になるので、観察する必要があります。このように、学習プリントの1ページ目の内容は、母音や子音の構音をチェックし、もしできない項目があれば、機能訓練プリントで舌の訓練をするとともに、①から⑥の項目が正しくできるまで練習します。子音が完成したら、次のページの音節づくりに進むことができます。

2ページ目は、正しくできた子音と母音を連結して、「き」や「さ」、「り」などの音節をつくる練習です。その後は、日常的に使えるように、連続音、母音連結、単語、短文のように進みます。

学習の様子は、連絡帳に綴じてあるので、おうちの方とお子さんで学習プリント見て確認して下さい。プリントの内容をどのようにして練習したのかをお子さんに実際に聞いてみて下さい。まだ誤り音が完成していない場合は、できない原因や理由を説明してくれると思います。

「さ」のれんしゅうプリント

No.	内容	1月22日				
		ア	イ	ウ	エ	オ
1	口の形 唇の上と下の隙間、舌の位置を確認する					
2	舌の形（舌の長さ） 舌の先端が歯茎に着いているか、舌の両端が奥歯に着いているかを確認する					
3	舌の形（舌の厚さ） 舌の先端が歯茎に着いているか、舌の両端が奥歯に着いているかを確認する					
4	舌の形（舌の幅） 舌の先端が歯茎に着いているか、舌の両端が奥歯に着いているかを確認する					
5	舌の形（舌の硬さ） 舌の先端が歯茎に着いているか、舌の両端が奥歯に着いているかを確認する					
6	舌の形（舌の柔らかさ） 舌の先端が歯茎に着いているか、舌の両端が奥歯に着いているかを確認する					

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和3年2月2日(火) No.13

指導の紹介 耳の訓練

ことばの教室の指導を紹介しています。今回は学習プリントについて説明しましたが、今回は耳の訓練について説明します。

音を聞き分ける力は、聞いて内容を理解するだけでなく、日常の会話や音読で正確に発音するために大

耳の訓練

他者弁別・・・相手の構音・発音を聞いて音を聞き分ける
自己弁別・・・自分の構音・発音を聞いて音を聞き分ける
異同弁別・・・それぞれ二つの音が同じか違うか聞き分ける
正誤弁別・・・正しいか誤っているか聞き分ける

切です。構音の誤りに置換（おきかえ）とって、「おさかな」を「おたかな」のように、「さ」を「た」に置き換える誤りがあります。誤って発音しても、本人が気づかないと、いくら授業で学習しても正しい音を身につけることができません。また、平気で「おたかな」と書いてしまうこともあります。聞くことは、理解、話す、書くにとっても影響しています。

さて、通級している子どもたちの多くは、構音の学習をしています。例えば、「しんぶんし」を「ひんぶんひ」や「ちんぶんち」に誤っている場合、「し」（音節）が正しく発音できないのではなく、『し』の風（子音）（単音）が出せないのです。授業では『し』の風の音」と表現して、正確に聞き取れるように練習しています。前回、学習プリントについて説明しましたが、各音をチェックして、音が正確に出せない場合、①口の形、②舌の形、③風の出方、④舌先の位置、⑤舌の奥の付き方、のいずれかに誤りがみられるはずです。ことばの教室では、①から⑤の項目全てが正しくできるように、鏡の付いた机の前に座って訓練します。指導鏡を使って学習するのは、自分の口や舌の形や動きが正しいかどうかを良く観るためです。

岩手県では指導鏡を使って指導をしますが、他県では指導鏡を使わないところもあります。指導鏡で口や舌の様子をみない場合は、耳の訓練を中心に指導しています。誤りを短期間で改善するには、機能訓練と耳の訓練などを取り入れた岩手方式が効果的です。耳の訓練は「ちの風 [tʃ]（単音）」の段階で丁寧に指導し、完成後は「ち [tʃi]（音節）」の段階、「ちちち」の連続音、「母音+ち」、単語、短文、音読の段階とだんだん難しく、スピードも速くなります。音読の段階になると、一瞬で「ち」が正しく発音できたかどうかを、子どもが聴覚的に正誤弁別できなければなりません。日常会話はさらに難しくなります。良く聞くことができるように、指導開始時期から毎時間耳の訓練を繰り返し練習しています。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和3年2月3日(水) No.14

通級児童の通級終了・継続について

早いもので、2月になりました。3月1週目に通級終了と継続について最終決定いたします。

つきましては、下記の日程で、今年度の通級指導の結果と、今後について相談したいと思っております。お忙しいとは思いますが、ぜひお子さん同伴で、気仙小学校までおいで下さい。希望する日にちと時間を調整しますので、ことばの教室まで連絡下さい。

相談期間	令和3年2月4日(木)～2月22日(月)
時間	午後(授業の合間におこないます)
場所	気仙小学校ことばの教室
持ち物	連絡帳(ファイル)、国語の教科書
連絡先	気仙小学校ことばの教室 電話 54-3225

毎時間使用している連絡帳に綴じてある学習プリントを使って、これまでの学習について説明します。すでに指導が終了しているお子さんは、説明の後に音読をしますので、国語の教科書を持ってきて下さい。毎年学校毎におこなってきた、「学習結果説明会」は、今年度は新型コロナ感染防止のため中止します。保護者、学校への説明は、個別に対応させていただきます。

もし、期間中に都合がつかない方は、遠慮なく申し出て下さい。

指導の紹介 母音指導(口形指導)

母音をはっきり発音するために、口の形を指導することが多いのですが、口の形だけでは正確に発音することはできません。動機づけと耳の訓練で説明したとおり、母音と子音は、①口の形、②舌の形、③呼気の出方、④舌尖の位置、⑤無声音の風の音、有声音の音(おと)、⑥舌の広がり、①から⑥全てが正確でないと、正しい音は出ません。「あ」の練習で、いくら大きく口を開けても、舌の形や舌尖の位置が少し違うだけで音が狂ってしまいます。口を大きく開けただけでは音は良くなりません。母音の構音指導は、連絡帳に綴じてある「あいうえおのれんしゅうプリント」を使って練習しています。子どもたちがわかりやすいように、歯の見え方と風の音で練習しています。

歯の見え方は、「あ」、「い」、「え」は歯が見えるように口角を引き、「う」「お」は歯が見えないように口をすぼめます。

風の音は、「は」、「ひ」、「ふ」、「へ」、「ほ」です。口から息をたくさん出して風の音を自分の耳でチェックします。ぜひ、母音が正確に発音できているかどうか、おうちでもチェックしてみてください。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和3年2月4日(木) No.15

指導の紹介 母音指導 (構音指導)

ことばの教室の指導を紹介しています。今回は母音指導 (口形指導) について説明しましたが、今回は母音指導 (構音指導) について説明します。

母音指導の口形指導では、歯の見え方と風の音の2つに気をつけて練習しています。歯の見え方で注意するのは、上と下の歯それぞれ4本以上見えるようにすることです。指導鏡の前に座って、自分の口を見ながら練習しています。実際に試してみるとわかりますが、「は」の風を出すとき、上下の歯が見えないと、いくらきれいに風を出そうとしても、きれいな音が出せません。舌先の位置が狂っていても音がこもってしまいます。上下の歯が見えるように構えることは、子音の構音指導の中で特に注意しているところです。授業では、子どもにわかるように説明しますが、低学年の子どもたちにとっては難しく、理由がわからないまま、繰り返し練習させられているという印象だと思います。上下の歯が見えるように構えることは、とても難しいことです。取り立てて口角を引く練習をしないとできません。ファッション誌などのモデルさんの口元を見ると、きれいに口角が引けて白い歯が見えます。ことばの教室で音を正確に出すために口角を引く練習をしますが、できるようになると表情も良くなります。また、口角を引いて構えることで舌も横に広がり、子音の練習の時に役立ちます。教室では週1回の指導で、しかもたくさん時間をかけることはできません。練習内容は簡単なので、歯が見えるように口を横に引く練習を、毎日1回でいいので家で取り組んでいただきたいと思います

「ア」[a] は、口を開けて「はあ」とガラスを曇らせる構えです。実際にやってみてください。

「イ」[i] は、口の中が狭いために、母音の中で一番難しい音です。風の音は、「ひい」です。[i] は、子音の構音の基本で、「さ」や「し」などの子音の元になります。母音の学習プリントとは別に「い・ひのがくしゅうプリント」で学習します。①から⑥でチェックしながら丁寧に指導しています。

「ウ」[u] は、息を「ふう」と吹きかけるときの唇の形で、唇の隙間の形は横長です。英語の[u] は唇をとがらせます。間違えないようにしてください。

「エ」[e] は、「へえ」の風を出す口の形です。[i] の上下の歯の間の開きを広げて構えます。

「オ」[o] は、唇をすぼめて、「ほう」の風の音がする構えです。

おうちで、みんなで作って下さい。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和3年2月5日(金) No.16

指導の紹介 構音指導(子音)

ことばの教室の指導を紹介しています。今回は母音指導(構音指導)について説明しましたが、今回は構音指導(子音)について説明します。

構音は、[s](スの風)、[tʃ](チの風)などの単音を発することです。これらの構音(音づくり)の段階の指導を「構音指導」といいます。

サ行音の「さ」、「す」、「せ」、「そ」を例に説明します。母音イの口の形で構えます。舌の中央に縦の線が見えますが、これは「舌正中溝」といって溝です。舌先を下歯の裏につけ、真ん中から大きく息を吸って息(ヒの風)を出すと、舌の中央に隙間ができます。次に、ヒの風を出している口や舌の構えを保持したまま、隙間を狭くすると[s](スの風)を導くことができます。

このように、誤った構えの音を、正しく構えて構音できるように練習する段階です。

通級している子どもたちの多くは、正確に構えたり、音を出したりできません。そこで、「機能訓練表」を使って、舌の形や動きを良くする練習を繰り返して、母音イ音が正しく構えられるようにします。そして、次に[s](スの風)が正確に出せるように、「さ」の学習プリントの①から⑥に気をつけて音づくりをします。

[s]は、舌先を下歯茎につけて、正中溝に沿って舌の真ん中の隙間から風を出して音をつくります。しかし、舌先が下歯茎から離れて浮き、上下前歯の間に挟んだり飛び出したりする誤り方を「歯間化構音」と言います。舌先を下歯の裏につけられない、舌先の感覚が弱い、舌の動きが悪いなどの原因によって生じます。

また、舌の真ん中に隙間をつくることができず、[s]の風が口の脇から漏れる誤り方を「側音化構音」と言います。舌が堅く、十分に脱力できず、力が入っているために、舌を広げて構えられないために生じます。

構音障がいの原因はそれぞれ違いますが、訓練すると直りますので心配ありません。

構音障がいには原因があります。その原因を知り、できないことを何度も繰り返して、できるまで根気強く繰り返し練習します。指導者と二人で指導鏡の前に座って、難しい練習をするのは、低学年の子どもにとってとても苦痛だと思います。最後までやり遂げるには、おうちの皆さんの励ましがが必要です。これまでの学習の取り組みの様子や成果がわかるように、連絡帳に学習プリントを綴じています。学習プリントを観ていただき、ぜひお子さんの頑張りに声をかけていただきたいと思います。いつでも授業を公開しますので、ぜひおいで下さい。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和3年2月8日(月) No.17

指導の紹介 発音指導

ことばの教室の指導を紹介しています。前回は構音指導(子音)について説明しましたが、今回は発音指導について「サ」音の学習プリントに沿って説明します。

1 スの風のめあて

「さ」のれんしゅうプリント

No.	めあて	達成
1	口の形	
2	舌の形	
3	風の仕方	
4	舌先が下歯茎に着く	
5	風の音	
6	舌の奥の両端が上の奥歯に付いている	

前回の構音指導(子音)で説明したように、「さ」の基になる子音づくりが学習プリントの1ページ目です。①から⑥の全てが「○」になると、子音(単音[s])が完成し、合格します。お子さんのプリントにも合格した日付を記入していますので確認して下さい。まだ合格していない場合は、「機能訓練表」と「ひ・い音の学習プリント」で基本の練習をしています。

2 「スの風とアをくっつけてサが発音できるようにしよう。」

「さ」のれんしゅうプリント

No.	めあて	達成
1	「スー(すの音)」「アー」	
2	「スー(すの音)アー」	
3	「さ」 ※「す」の音と「ア」の音をくっつけて	

学習プリント2ページ目は、2「スの風とアをくっつけてサが発音できるようにしよう。」です。

子音[s](スの風)と[a]「ア」をくっつけて音節[s a]「さ」をつくる練習です。はじめは、スの風と母音アをそれぞれ息を止めて出しますが、次に息を止めないでつなげます。だんだん

間隔を狭くして「さ」[s a]の音節を完成させます。

音節は、学習プリントの1ページ目と同じ、①から⑥でチェックします。

- ①口の形
- ②舌の形
- ③風の仕方
- ④舌先が下歯茎に着く
- ⑤風の音
- ⑥舌の奥の両端が上の奥歯に付いている

それぞれ、目と耳と感覚を使って自己評価します。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和3年2月9日(火) No.18

指導の紹介 習熟指導と音読テスト

おんどくのめあて

№	めあて	評価(×△○)
1	大きな声で ゆっくりと	
2	口をあけたり ひいたり すぼめたり	
3	一字 一字 ていねいに	
4	「し」や「し」に きをつけて	
5	おびを しっかり出して	
6	したの形に 気をつけて	
7	したを しっかり上げて	
8	したさきに 気をつけて	

ことばの教室の指導を紹介しています。前回は発音指導について説明しましたが、今回は習熟指導と音読テストについて説明します。

「さ」の学習プリントを例にして説明してきましたが、短文の段階が終わると習熟の段階の音読と会話の練習に入ります。

音読は、お子さんの使っている国語の教科書を使って行います。できるだけ練習してきた音が多く含まれる物語文や説明文を選びます。音読の学習は「音読のめあて」

のプリントを使います。連絡帳に綴じてあるのでご確認下さい。

「音読のめあて」の内容を説明します。

1 「大きな声でゆっくりと」

声の大きさは、教室の対角線上の端から端まで聞こえるように、騒音計の音圧レベルで70デシベル以上で音読できるようにします。練習してきた音に注意して、自己評価できるように、ゆっくりとした速さで行います。声帯をしっかり震わせて、響きのある声が出せるようにします。声の大きさを子どもに知らせるために騒音計を使っています。

2 「口を開けたり引いたりすぼめたり」

ア段は大きく口を開け、イ段、エ段は上下の歯が見えるようにし、ウ段、オ段は歯が見えないように口をすぼめて練習します。子どもたちは、口を開ける練習はしてもすぼめる練習はあまりしないし、意識も低いと思われるので、多くの子どもたちは、普段の様子をみると口をすぼめるのが足りません。イ列とエ列は、口角を引いて構えますが、きちんと口角を引くことも難しいようです。ぽかんと開けた口の形のまま、曖昧な口形で発音しています。その口形で大きな声を出させると、母音が強調されて汚い発音になってしまいます。

3 「一字一字ていねいに」

練習してきた音はもちろんですが、五十音全ての音を丁寧に発音して読む練習をします。練習してきた音以外の曖昧な音も、取り立てて構音指導します。「手伝いをしました。」のはじめの「し」は [ʃ i] で、母音 [i] は有声音ですが、二つ目の「し」は、[ʃ i] で母音が無声音（風の音）です。このような風だけの音は、「～です」の「す」、「ゆきかき」の「き」、「けしき」の「し」、「つくし」の「つ」、「ちくわ」の「ち」などたくさんあります。風だけの音はしっかり風を出します。「～は」、「～が」は意識して口を開け、「を」、「も」は口をすぼめるように声をかけています。

4 「、」や「。」に気をつけて

点や丸で文章の区切りをつけ、語のまとまりをとらえて読む練習をします。1年生の国語の教科書を見ると、ことばの間に空白「わかち書き」があります。1年生の教科書の文字は、ひらがなだらけで、空白がないととても読みづらいからです。2年生の国語の教科書を見ると、はじめはわかち書きですが、文章の中にカタカナや漢字が入ってくると、途中からなくなります。意味を理解しながら文章を読むためには、文節で区切って読むことが必要です。ことばの教室では、音読の段階で発音練習をするとともに、音読の練習をしています。

5 風をしっかり出して

キ音、サ音、シ音、チ音、ツ音などの、破裂音や摩擦音、破擦音を学習してきた場合、音読の段階でも子音がはっきり聞こえるように、呼気に気をつけさせています。ことばの教室で学習して、正しく発音できるようになっても、日常的に音読や会話で使うことは、とても難しいことです。音読は、文字を見て読むので、音に気をつけやすいのですが、会話では文字が見えないので、注意しなければならない音を見逃しがちです。しかし、間違えて発音したときは、聴覚的に気づいて、言い直しができるように、耳の訓練をしています。それでも間違えると思いますので、その時は、遠慮なく「変だよ」と声をかけて下さい。注意して音読練習をするうちに、日常的に使えるようになっていくと思います。

6番以降は、特に気をつける項目を入れていきます。

最後に音読テストをします。「音読のめあて」が達成できたら、毎週の指導を終了し、定期的に検査をして様子を観察します。

その後は、年度末に終了のお知らせを通知して、指導を終了します。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和3年2月10日(水) No.19

「学習指導結果説明会」中止について

通級及び巡回による週1回の指導をおこなってきましたが、残すところ指導日は2月に4回、3月は1回または2回となりました。3月5日(金)に、今年度通級した子どもたちの終了か継続かを決定して教育委員会に報告します。それに伴い、例年であれば2月の最終週に、おうちの方と児童の在籍する学校の先生方へ出席していただき、今年度の指導の結果を報告する「学習結果説明会」を開催していましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止します。

以前実施していた「学習結果説明会」の内容

期日 2月最終週

時間 午後3時50分頃から40分程度

会場 児童在籍校

参加者 校長 担任 保護者 児童 担当 他

次第

1 開会のことば

2 校長先生のお話

3 ことばの教室と指導内容の説明

4 児童の発表(内容は①から④です。)

①うまくできなかったこと 「〇〇ができませんでした。」

②練習して上手になったこと 「練習して〇〇ができるようになりました。」

③大変だったこと 「〇ができなくて家でも練習しました。」

④音読発表(連絡帳の中のプリント・国語の教科書)

5 おうちの方の感想

6 先生方の感想

学習指導結果の説明について

「学習結果説明会」の中止に伴い、今年度の指導の結果について、個別に対応させていただきます。保護者のみなさんは、通信第14号でお知らせしたとおり、2月4日(木)から2月22日(月)の相談期間中の都合の良い日に、お子さんの指導曜日・時間に合わせてお出で下さい。すでに指導を終了しているお子さんと、午後に相談を希望される方は、前日までに相談日を調整しますので連絡下さい。連絡先は、タイトル欄の電話番号までお願いします。午前中は、巡回指導で学校を留守にしますので、不在の時は、希望曜日と時間を気仙小職員にお伝え下さい。

児童在籍校の校長、担任への説明も、個別におこないます。後日、巡回指導で訪問した際に相談したいと思います。よろしくお願いします。

はまなす

陸前高田市立気仙小学校

ことばの教室通信

住所 陸前高田市気仙町字愛宕下1-5番地

電話 54-3225(ことば) 55-2932(職員室)

発行 令和3年3月10日(水) No.20

令和2年度の指導終了

昨年は、政府の発表と報道により、3月3日火曜日から市内一斉臨時休校になりました。それに伴い、「ことばの教室通級指導結果説明会」を中止し、慌てて通級児童の在籍する学校と保護者の方に、「後期通級指導結果報告書」をお渡しして指導を終了したことを思い出しました。

今年度も、集まりをもうけることができないため、説明会は行わず、在籍校と保護者の方には、個別にこれまでの指導の経過と通級終了及び継続について説明させて頂きました。そして、3月1週目までの指導を基に報告書を作成しました。

1年生のみなさんは、指導を始めた頃は何のために通級するのもわからず授業に集中できないことが多くありましたが、2学期に入ると少しずつ落ち着きが出て、鏡の前で舌の形や動きに注意しながら学習ができるようになりました。学習プリントを使って家でも練習するようになり、どんどん上達していきました。2年生以上のみなさんは、自分の課題がわかり、課題を解決しようと毎時間真剣に取り組みました。その結果、4月に比べて、できなかった舌の動きや発音ができるようになり、どの子も上達することができました。通級したみなさん全員に拍手を送りたいと思います。

指導の結果を文章で説明するのはとても難しいため、ご不明な点がありましたら、お子さん同伴で教室にお出で下さい。実際にお子さんの舌の動きや形、発音の様子を説明します。通級終了のめやすは音読テストの合格です。正しい発音ができるだけでなく、「音読のめあて」の項目が全てできたら合格にしています。気をつけると正しくできますが、普段の会話でも使えるようになるにはもう少し時間がかかります。学習参観を手がかりに時々声をかけてもらいたいと思います。

児童在籍校の先生方や保護者のみなさんには、たくさんご協力いただきました。お陰様で、児童一人一人が自分の課題に向かって、意欲的に学習することができました。

陸前高田市では、震災後、巡回指導に切り替えて指導してきましたが、今年度から震災前の通級に戻しました。おうちの方には、毎週送迎していただき、指導鏡の前で3人で指導する中、後ろから声をかけて励ましていただいたり、やさしく見守っていただいたりしました。おうちの方といろいろな話ができ、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。